成25年度隊

日

神話の里

霧島温泉郷で鹿児島県隊友会が担任! 友会九州・沖縄ブロック研修会は、

月 7 日

<u>\</u>
\( \)
8

日

した。

隊友会員

約

鹿

児島大会

盛会裏

に

終

研修テー

マ「隊友会正会

携の核の確立

佐賀県及び鹿児島県が

高揚、

修会14

0 {

を配布

連帯

各支部に隊友会の

員退会者数減少のため

 $\mathcal{O}$ 

説明した。

5

0

人 の外、

自

 $\mathcal{O}$ 

番匠西部方面

総監、

海

自の吉田

佐世保 開催 9

水地方総i 師団長

又第4師団長、

森

Щ

第8

並 監

びに 空自

玉

会

員

鹿児島県

知

事及

地元霧島市長等約

5 0

人に及ぶ来賓

をお

迎えし

て

 $\mathcal{O}$ 2

宮川

西部航空方面隊司令官及び川

各

行事を滞りなく終了した。

会行事

# $\mathcal{O}$ 指 島 導 力 問

いろいろな評価があるがた末一応の決着を見た。 るし、 機 提案 当局 が り あるも 感につ 事  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 業」については、 職員等の上 唐突さ等には問 ネ 県議会ともに いては のの県 理解で 知事の を費や 海派遣 かるが 県 き 危 題 研

6 から 与える要素が大きいこと 来にわたって費用対効果 は馴染まなく、 て当 発を招いた面が多 そして県民に不公平感を 上見 い の ただ今回の件に関し 極めがつかないこと 強力な指導力発 然のことと思う。 指導力は発揮さ 多くの 揮に 反 て れ

は 分 れるような案件につ 地域への建設は反対とい 例えば産業廃棄物処 の建設等、 かっているが、 必要なこと この 分

隊

九

州

沖

縄

友

さ

0

ま

のである 元 の Ь 閉塞した状況に陥ってい請したままになっており 府に対して移転断念を要 け入れ」については、 着陸訓練 (FCLP) 抱える国家事業につ を発揮しても 化と米 馬毛島問題「馬毛島基 同じことが言えると思 断固反対を受けて政 艦 らいた 載 機 11 県 受 地 て が

する高度 全保 いた決意を有する事 要な国家 盟 馬 毛島問 障の基  $\mathcal{O}$ 事業であり、 国家観に基づ を左右する重 題 盤である日 家安 直 面 鹿 米

る 阪 の地方自治体も受け したのは、

地負担权 に立って引き受ける決心 を れようとしな 鹿児島 示したもの の県民 を国 であろう。 家的 性は、 沖縄の基 観点 玉

強く発揮して 歩も進まない状況にある 有すると受け止められて 持って立 ち上がる気概を 事として事 けその指導力を いただきた 題は、 策等」について発

会長 来徹夫)

難に際しては強い決意を 空港で受け入れ 今

(統括)

体的活動及び必

要な施

(株)鹿児島新生社印刷 鹿児島市七ツ島1-1-1

鹿児島

年度事業計画にお

いて

におけ

単隊と警察の違いる現行法の問題

された。

平

成

2

空・ 不備

領土等

特侵犯事が

会活動活性化のため

 $\mathcal{O}$ 

また軍

デンに

会が

開

刷◆

鹿児島県隊友会

◆発行責任者◆ 川畑初夫

行◆

平

成

2

5

年

多

では桜島火山

が会長から授与さ

参

員

宇都

史

. て

7

議院

◆印

盛大

に

闸

 $\mathcal{O}$ 

達訓練の実 伴う12普

して防

講話を頂

た。

防 衛

友会員)

を

ど各種事

業の成果等が

特に最近 では、

海

施となったが、 加を得て、 を主体に簡素化 話の2部構 催された。 な行事となった。 3人を含む いて、 のジェ 引き続き議事を行い、 前段の総会は、 5 月 2 6 イドガ 県定期総 成とし 厳 総会と 108人の参 目 粛

家族会員

つ盛

しての

正会員

魅力化することを各支

各会員にお願いした。

して

いただいた。

また本年度は鹿児島

防 衛

等を整斉と進行 平成24年度事業報告、 役員改正年度に伴う審 成25年 度事業 計画

本年度表彰では 隊友

会

賞1人の計 活動に 員並びに鹿児島地方協力 方 1 囿広美様に 備自 6人及び地 官班 7 人 対し感謝状 長の、  $\mathcal{O}$ 貢献

実・定型化・体系化を

今後検

討されるべき

を 何

カュ

ら守るの

か

等

奉仕地域事業の

各種事

業をさらに推

策上

 $\mathcal{O}$ 

課

題

等に

9

顕著な功績が 正会 あっ

つ ック研修会の

なっており、

会員全員

は さ

我々の

代表として

政

Ο

В

あ

る

担当

年

度

おもてなし

の心」を

隊友会が九州・

沖縄ブ

0)

一員として総会に

務多忙な中、

表彰等

表彰 式の 様

う会長から直

接指導

て万全の準備をする

くとともにブロック

研

の成功を全員で誓っ

らへの 対処等も含

と

ある統制美で会

隊第2中隊による「

披露され、

躍

啓蒙と帰属意識の高揚、 よるボランティア意識 して1支部1奉仕作業に 支部を新設して などを強 活動例 意識 ヮ 表。 連の 部による歓迎 万全にした めて常在戦場 て要望し、 ŋ 12普通科連隊音楽 応を平 いと話され 1海の守り 演奏の 練等をしっ を日常戦場 即

れ

た知事も至極ご満悦

で

嘆させた。

初めて鑑

あった。

宴は、

霧島市前

田

市

監、 司·

令官の

祝辞、そし

て国会議員、

小里先

生、

空自衛隊九州トップ

 $\mathcal{O}$ 陸

総 海

畑隊友会長の歓

の挨

後、

0

ユーモア溢

始  $\mathcal{O}$ 

まり、

お酒が進

伊藤県知

事及

び 迎

尖閣諸島周 講演された。 方 題に :進出、 現状は、 総監・吉 しついて、 海鎮守の現状と課 中 辺で でも 特に 田正 佐世保: 紀海将 · 国 の 海 が 地

拶を

いただいた。

曽我兄弟の

野村先生、宇都先生の挨

にちなむ、

多くの参加者で始まった研修会 おり、 事のグ が  $\mathcal{O}$ 活動 激しくなって  $\mathcal{O}$ 平時と有 活発 化

ンとなっている

全員で隊友会歌を斉

昨年に引き続く会勢拡 まず鹿児島弁で歓迎

 $\mathcal{O}$ 里

活

動にご尽力頂きた 歓迎の挨拶を行っ

た

の第二弾として、

具 体 各

の的

て絆を深めた。

会

長

な

策が提

案さ

れ

の鹿児島大会を思い出し

会行事では、

8 年 前

いおさいじゃした。」とは、「ゆくさ、かごっま

るとともに、ここ神

話

0

を楽しんで頂き、今後

道

標となることを祈念す

第12普通科 故事 吉田佐世保地方総監 平成25年度 九州・沖縄ブロック研修会鹿児島大会 拍手喝采の傘踊



れる大宴会場と化 挨拶や昔の仲間との いに大忙しと熱気あ 第 1 2 した。 Š を て 11 研 地

は過去を気にせず

次に

故に

ŧ

9

新しいも

のを写す

 $\blacksquare$ 

れる乾杯 むに で 閉じ 通  $\mathcal{O}$ 力強い万歳三唱で幕を 科連隊後援会長、 た。

西様

研修 8日 午前 中

各県単位で霧島神宮及び 温故知 野原縄文の森(遺 国分支部会員の案 が修し、 新に思いを 会員それ ぞれ 内で は 跡



失敗や間が が 立 て 言葉がある 去れば きあい く消えてしまう。 明ま省 自分を見つめ 鏡 ば の中は 人を写 る。 違いと正しく 鏡 跡形 Ļ  $\mathcal{O}$ と

前

立鏡なが人うあお向

人に

切

で な

11

くよせずに、 て思 あ 過ぎ去ったことにく な 0 知らされ 意である カゲを見て 前 向きに  $\blacksquare$ ること しっ ぽ

第

1 グ

ルー

『﨑理一郎》

い、恵 案等 整備 迎え とし • 祈念しつつ会員全員がの今後の益々のご活躍 きな感激と拍手をもつ の語 防 6 0) 衛講話を終了した。 れ 想 る。 11 姿に、 を 情熱をもつ 宇都 議

大 を 員

て

家族にもわかりやすく解 参加 いて衛 友会 多くの会員が参加した県総会 治 11 の生きる術であり トカゲ ぱりと係る だから、しつぽの切れた前進する潔さを感じる。 いる 類が る。 鋭く る。 しっぽ はつら 元  $\mathcal{O}$ 気 中、 動 累を絶ち新 きがよけ 切り つとして見  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 切 でト り、 は き あ た  $\vdash$ す たに V 力 ま 2 ŋ た ゲ

は誰にでもあるが、間である。失敗や間 ろうか はない。そして次へ前ずったままでは次の前 敗や間 生を てこら しっぽ ステップが必要である。 するためには反 自分があ 刺と見えるのだろう 振り √▼自分は昔からなられたからではな♪ 違 切りを何とか 返っ るのはトカゲ 失敗や間 が実に多 てみて今 省と 引違 V い P  $\blacksquare$ う進 進 き い人失かつのの人溌 人と

う 1

大

きな規

模 3

で 0  $\mathcal{O}$ 年 組 5 う

開

監視 とし

警告

や泳

者

船

· Ø

と

11

う大

事 舶 など1

0 ボ

審判

規定

違

反

さ

0

0 0 で

学生

など

で 9

す 艇

が、 て

毎

年 込  $\mathcal{O}$ 

審

判  $\mathcal{O}$ 審 時  $\mathcal{O}$ 

員活動

6 選

0

が

参 た

毎

乗り まで

んで

動 船 6 0

が 目

 $\mathcal{O}$ 

会

役 安

これていま

り、

中 たに

止

あ 大

り

自

実

会組

知 衛

管

能 力

力

を

10

な

顔

### 隊 友 さ 長 つ ま 集

出

を

よそ20

いう、

で勤務を伝

せ

たも

て

ケ

周

ウ

イ

 $\mathcal{O}$ 

を 果

P

編集に当 あ る り日 たってくれ。 県 友 会 ざつ 「 長 か 6 電 段集

が去

 $\mathcal{O}$ 

会長に 校正 を を け ない」と一 な 担 L 訪 ところが ることに 当 上申 たところ「 時 内 か 喝され、 間 在 が、 住 地 調 カュ さ 者 区会に 整を頂

びを 5

担 カュ

当

その

苦労

年ほど広報 つて第5 ことだった。

紙 設

 $\mathcal{O}$ 

寸

で、

₽

・たので、

Þ

は

変

な目に

遭うことが分

ことで引き受 また、 誰が た

Ĺ かる為 に限 など 定 るに に用 A 3 3 報 を て本会の 道 馴 語 拡 紙 を 著 大、 文は 面を 版 当 拡げタ 存在 できるだけ 写真を 項 るものにし · ら 寄 して一 を基準に文 を示し市民 増や 稿

Ļ

衛

反

対

の最 名

地な

隊

友会の

般

たお民間

を  $\mathcal{O}$ 自

分

で米

方に思え

今

ま

編集

玉

初

ブロイド

字

内

 $\mathcal{O}$ 

人

として猛

そ が の 米

米軍基地

に送り

が

毎

とな

電能・

基

W

で も 回

ま

が、 1

で

0

0

叙

勲

受賞

県

隊

会

表友

彰長

☆

は

が

け

を

る

復

帰

直

に 4

人

 $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 

隊 日

員 本

が 志 告 費  $\mathcal{O}$ がは 6 で資金を集 りな 再 発 ことながら つたが、 を実 刊 つま」 」 た ば 実

不希

L

望する者は

一人も

芳

経

広

蹴

関か・ されたが、かっ と一点

7

関心を示す方々

5

快諾を得て以後

して のい存て 負 いると ま う 元に貢 確 かな き れ

手 行 ま して多くの会員 てム 並 0 艇 の 1 た、 事 協 いが していまし 业びにボランティアと事です。 来年以降、選素晴らしい、伝統ある 議会の ま 参 加 友 L 船長 V. 完 泳 が して  $\lambda$ 児 健 £ 闘

2

会 長 児 島地 こ の いた Щ 区 文 協 動に 積極 彦 思汗的

の下で昼 取中、現 で猛烈 ウ のノル さが 基あ 当 W F しま インドファ て 工 風 れ 光 九州電力に います。 で平 が 力 が デッ 6 成は、 4 0 所 0 1 高は ク 風 供 7  $m \hspace{-0.5cm} \mid \hspace{-0.5cm} m \hspace{-0.5cm} \mid \hspace{-0.5cm} m$ り全 ス社 車 年 成 給を開始 はド 一番高 3 して 1 をお聞いてい 主製で レー タワ 枚 月 5 以 イ

重 です。

たが 0 世 W 電 で量 使 定格で 事 今 用 平 成 当 W 量に 年京 帯分の で 1 故 は、 が 般 F 都、 家 相 庭の 1 年 当  $\mathcal{O}$ 1 3 風 6 L

方式 ス (ピッ  $\mathcal{O}$ が チ 翼 ル 制御 端 次ぎ起 制 三重で風 御 方  $\mathcal{O}$ キ 空力と (失速) ます。 さ 式 車 間 約 きま 4 とは が事 は、 の電 れ 2 0  $\mathcal{O}$ K K 総 4 万 W 故ブし 車 違 気 0 k

風 る 思いま れて 発 九 再 生可 太 が 脱 びが 陽光、 くと思わ 原 お 益 能 近くに、 発で Þ エ ネ バル 期 内 度 1 に £ れ ギ ます 当 あ 建 オ ] さ

松隼

元

殿

全に停止

風

速 L

> 玉 国で 約は は は 1 末 3 9 基 現在) 2 本 で3番目 4 . 6  $\mathcal{O}$ 北 2 風力 番 ま 海 倍 · 7 の  $\frac{\phantom{0}}{2}$ G と 見。 す。 道、 なっ 発電 G W に 風 いでに 多 4 W 車 てでり て 世設 位 11 森 が年 1  $\mathcal{O}$ 界 備 県 県 あ

県内に は 4

なっていま

(スポーツ(旭日双光章

 $\Rightarrow$ (防衛功労)(瑞宝双光章 竹鹿 **:原光則** (児島(陸)

**薗**摩 Ш 次 (内 (陸)

下薩

分 殿

殿

永国

田

**遠** 知

**矢** 名

**稔**空

殿

山永佐鹿

殿

**竹原光則** \*鹿児島地区協 地 域貢献 賞

振興功労)

賞

受

## 思 を 玉 井 初男

隊員こそ

後 布

継

を

頂 者

番号

な

職

域で勤

し技

た。

中でも沖

も 喜 編纂

断 遠 支

実

感

いま

年は、

航空群司

ラン

と 自 我 が

々

錦

横

活 TINISH で動 の後 爽ゴ かル

水 画

ま 組

で

2

km

を

В

会

玉

分 隊

運

営し、

桜島

から

磯

海

月

1

4

名

1

寸  $\mathcal{O}$ 

体で競り 4

駐 友

が屯会

友

会合

同

2

大会で、

県 内

外か

抽遠

参 地

加 曹

早

6

5

0

5

間、 朝

判 カュ

2 O

玉

内

いま

今年

で

9 第

口

目 9

と

な

ŋ

ま

7

本大

会で

5

各

自

0

В

ティ

を

年 加

のを

回れ

加 1

選

1

カュ

打

診

らみ成に

海

上

屋基 別参 もボ

地加

さ隊

## 【第10回グランドゴルフ大会案内】

: 平成25年11月23日(土) 8:30~15:00 荒天時中止

2 場 所 : 吉野公園

鹿児島市吉野7955 電話:099-243-0155

3 実施要領

(1)編 成 1チーム5名(会員3名含む)

(2)表 彰 団体及び個人

2ラゥンド合計16ホール (3) 競技要領

4 問合せ先: 鹿児島地区協議会

事務局長 後藤 光一

### 【 県殉職隊員慰霊祭案内 】

1 日 時 : 平成25年11月30日(土)

2 場 所

3 実施内容(基準)

(1) 慰霊祭

(2) 集合写真撮影

事務局長 後藤 光一 TEL & Fax 099-260-8448

-7 電話:099-226-7030)

4 問合せ先: 鹿児島地区協議会

隼 人支

は

ま

Ш 光

治

青 薩

﨑摩

(内 (陸)

殿

ЛI

10:00~13:00 鹿児島県護国神社

(鹿児島市草牟田2丁目60

(3) 直会

**下出**志布志 中さ 野っ 田鹿 **中**児 島 ま 昭 <sup>(</sup>空 治 行陸

男

殿

**廣** 太

**繁** 位 郎 殿

殿

小国

**林** 

長枕

野崎

美

義

和

殿

小始

出 水<sup>良</sup>

(**陸**)

**徳留洋志** \*南さつま

**宇**金 田峰

四 郎

池国

五 (陸 馬

殿

分

水

人 殿

清

美

山一義 宝河内 夫 殿殿

立日薩

崎和満 静進秀雄

殿殿殿殿

日貴一大田東北本 協

殿

**大囿広美** 康児島地本

感謝状

殿

殿

男

福加

重 治 **澄**木

殿

**永井義** 

殿

殿

殿

中始

間良

殿

新隼

中人

輝

〈防衛功労〉 ☆瑞宝単光章

南小矢新国

**蔵野村**分

殿殿殿

鹿屋陸・空協議会は 成25年4月1

4 日

め72人の皆様と

公

族会

建

立されている。

戦争の戦没者慰霊碑が

一角に大東亜戦争、

市花岡

町高千穂公

 $\mathcal{O}$ 

諸先輩が

謹んで哀悼の意を表し二 436柱に対し又英霊に

掲げ隊友会の広報と活動

の宝田ダ

は隊友会の

等を実施し

の為、

同胞の安泰を念じ

の会員が参加した。

打ち上げられ

たゴミ

浜公園に

移動しる 者全員は

浜

調した知名町隊友会の :業参加会員は 公園の

作業に1

催かる。

かけて終了し

者で約2時

その後、 泊海

参

化及び慰

隊友会奄美支部は合同

2 9 日

4回にわた

人で隊友会の幟を立て激

文の森一帯で総

国分支部

発揮して任務を全うする

教育大隊「一般陸曹侯

した第1

迫擊砲中隊担任

5 8 人 の 2

しく成長し、

衛官候補

はれて2等陸士に

修了式までにさらに逞

第12普通科連隊

計 2

ながらも全員元気で力:

行進する姿に

感動した

日も有り、

汗にまみれ

国分支部は5月20日

参 出訓練(1 1 : 0 2

も住民が 内に

の長浜みなと公園を主

市

県防災訓 産は1

8

目

月、戦後の混乱期が収ま長野氏は昭和27年7

でもあった。

隊と改称され、

編期

た。当

一時は

れた方々

退でるの凍

て、

入隊され

警察予

隊

ら訓練に励んだものだら武勇伝を聞かされな

32年間勤務され定年

安隊、

武器や装備品は

ŧ

ちろ

上自衛隊基

地とな

衛官として、平成2

務される

枕で切る康にあンボれを会 崎あな、維参らドーて、引長

昭和35年

? ら 予

Ĩ ~

年 備

陸上自

• 自 るまでの 難所に誘導され 約30分間の訓

救 消助 防

老いても益

Þ

元気

生憎の雨天のため地面が 当防災訓練を通じて、 れていて本当に大変な 「どのように」

中には旧軍経験者も多く

め込み外出されたこ

イズと決

年満期で退職して帰郷

服で

ておくことが一番大事だ とができたと思います。 災意識の向上に繋げるこ



加しど

体・自

警察•

自

体86機関

民は

り3回目となります

った。

が米軍からの貸与品であ

隊は、

国分に新設移駐

共に、

年7月に

足に尽力され、

ぶ力され、昭和45<br/>
隊友会枕崎支部なる

彰ら会5発とま自

長や支部長を長年務め

成された後、

副

今回で県会長表

2回目となった。

支

部

長

入会の以 あ来 れ3 2 0 れ年

年で3

年を

えました

即入会し今

の名簿すらない状況か

り正会

を最後に定 群本部勤務

和 6 0

東支部第2分会に所属

事に指名され現在 会長、鹿児島市支部理事 平成3年当 理事をへて、 鹿児島市支部 吉野東支部第2分 務局

積 鹿

8 私は昭和58年2月2 縄第6高射特科

任官して一般陸曹候補生

次長、

市支部長・

久木田、 (把握の 世話人会(櫻井、 井茂氏(前県

理事)

地区隊友会で夫婦同伴 行なっていました。 定し、分会行 新年会を開催する 状況及び役員の 梶原)を開き会 分会制 月に正式 が企画し 事 谷 口 宅

この訓練は桜島の



高台へ避難する園児を支援

美しくなり、 う公園が見 満足げな表情で海 水浴客やキャ 分けする撤 からの 去 加者 える 作

ユニホームの知名支部会員達

お期多くの 業に汗 全員 程に

会員1人)が参加した。 等の火山災害に加え、 成25年5月22日 で実施された市総合防 津波、降 爆 ケめ 族災辺国平部 生大灰発 (いた等し練佐るいの今成支 取避収協 の参務てしの 自開所 て状会り難集力消 賞加をき 指後果部 賛団処ぱ積況員組誘 質団 処は 頃 に 貝 加 導 広 、 団 ・ 治 場 に は ん 導 報 情 等 警 体 に が ら 、 業 に 応 場 。 に ・ 報 と 察 ・ 展 思針のをで 部 っに活検は

歴と脚の治療ならおまかせ下さい / ※各種保険使えます。 ★治療時間

●月~金:AM9:00~PM7:00(昼休み:13:00~15:00) ● 土 : AM9:00~PM3:00(日・祝日:休み)

★オプション

●骨盤矯正 ●オゾン足湯&フットマッサージ ★駐車場:県営「鴨池駐車場」(1時間無料)

鹿児島市鴨池新町14-14 ポンシャスビル1F

電話: 099-296-7437 携帯: 080-3537-2554

(農協会館向い)



分 支

がる様子を見ながらなわれ、海上花火の 互い気分 ひと 加

時が 酎上

小 永 人支 Ш 福 興 路 敏 和 孝

伊久 良部

鹿 瀬 崖 来島 戸へ **山**海 支 義部 隆

児

地

区 政

協

冥福

謹 K で

祭に参.

加す

ま

その時

員で「わが

友よ」

会が行わ 前夜祭と

参

加 祭交

者

志)を決して忘れては

同期

0

桜」を合唱する

世に引き継ぐ努力を怠

々にお伝え頂

ことをご家族や周

がば幸い方

常官中隊長 本訓練初日には

志々目 は、予

智

備自

指

 $\mathcal{O}$ 

を支援した。

と 3 0

衛官

衣彰式を実施||開始式及び

2 人 地方協力

予

本

出

早

出水市特 さて、 す。 援を賜

攻

慰

団体の

方々の参

 $\mathcal{O}$ 

のために尊い

などをご活用頂き、

8 施設大

担

任

川内駐屯

れたご遺族並びに各

4 月

本部長の内野です。

年こ

(鹿屋市)、海上

特

攻第

員の慰霊なども含め、

以上の慰霊

2

自

方

協

力

攻

触れ、身の引き締まる思

作られ、

がいたしました。

ちなみに、私は今年に

そういったことから、

予備自衛官

旧鹿屋基

ていった勇士達の心

情に

自らの身命

国家存亡の国

隊友会の皆

隊並

鹿児島

地方:

各

のご

げ

渋谷出水市

4ヶ所目の

参加とな

れていない方がおられ

(本部長

方

は

 $\mathcal{O}$ 様

加を計画さ

どうか「慰霊

in鹿児島」

月2日から8月

どの慰霊祭にお

を捧げるとおき

(追悼式)に続き、

つま市)

等が行

ます。

まだ

の万

玉

隊

### での期間、 月 1 末から 2 次 1 派遣海 海自第1 同年 6 2 次 賊

び陸

点にソマリ

カの厳しい環

境 超

下

 $\mathcal{O}$ 

航 月

任務部

空 ま

2

2 対

任務飛行達成

第900回

任務達成を全員で喜ぶ派遣隊員

入績 は、 たる12

務飛

行

る我が

艦艇部

隊は

処に 収集

事

す

係する諸外国

定運営の

9

間に 3

整斉と執り行わ

参

DA PE 12 th

派 第 1

造は今日

ーで 3

を行

4ヶ月

3 C が

た 情

隊

航空

カュ

連日に

わたり 重責を

警戒監視

ほ

社会の共

(通課題

表

鹿屋 第 1 航空

処

とした約 挺団

ŧ る

係者からの感 は

域住民を対象にした文化 駐留各国軍や地

睦を図ることな して

※対処を めとする国 我が国が海

担えたという誇りと、無

に鹿

1

尉

たすのは、

大会史上初,

海峡を渡り九州上陸を里と総合の二冠を達成したと総合の二冠を達成した

継ぎ、

月 1

旦 務を

る 1 空群

(厚 3

を基幹と

闘し、3時間4

六

全区間

4

隊

自第

材

で

道

3

社会へ

の 貢 6 次

 $\mathcal{O}$ 5

一翼

滝ヶ原自衛隊に2分を狙っていた地元強

を継続しているが、

許さない状況にある。

派遣隊長は、

ているようにも感じら 湾における活動拠点の安 への理解を深めるととも バル・イシュー)に積極 んでいること (グロー 盤を 学校での演奏は、 人を超す大舞台に。 員からなる若は 生徒たち 民 延べ 学 鼓 勝 1 校  $\mathcal{O}$ 演 0 関

国分駐屯地 士 2 駅

気象条件と標高差約3

mという世界でも

でゴールテープを切るアンカ・ 5 9 競走大会に 年 8 長・照沼

記念の

年 の

選

富士

山が世界文化遺

りの過酷な山岳

記念第38回富士登山 場をスター 静岡県御殿場市 目にして初 場 秩父宮 陸上: 平  $\mathcal{O}$ 佐 成 2 総

する第1次予備自衛官 2 5 い日ての 実 誠 召 彰 された予備自衛 誇りを胸に、 後も予備自衛官とし ていきた 内駐屯地 いと誓 更に邁



教育受講に熱が入る予備自衛官

ってしまったが、その にさらされ未実施に終 れぞれに成果を上 命に訓練に取り組 ててい 練当日はあ っさぃ 、残念なことに射撃訓 、に成果を上げてい 中、それぞれが設定 な無事に5元 練等 うと

成日は他わ候訓いそ懸し暑は る努目整的的今練衛本 所存で達実出した。 に度手に に度手に をなもり をおもり でま成施頭献積い合備島

真剣な態度で訓練する予備自衛官

を国分駐屯 衛大臣政務官 8月7日に げに持 手 達 優 元 迎 ちは 全 隊

手の

翌日に

地元の霧島市長へ優勝報告

つ高な隊電方すを参 た場る員をなるじ院都院藤 報 1 班 2 繋気のきらくめ議隆議正 がの更、祝のと員史員久 がの更

指2いめ果門た部以豪連0以

健康住宅一筋



新築・リフォームのお問合せは

0120-150-889までお気軽にお電話ください! 薩摩川内市平佐町1750 (空港バイパス道路沿い)

## おかげさまで創業50年

包装資材・包装機械・農業資材

あいにし調身極て訓自地



〒890-8523 鹿児島市草牟田 2 丁目45番35号 TEL (099) 223-7456(代) FAX (099) 223-7400